

NEWS RELEASE

2026年8月31日

公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会

横浜グリーンエキスポに伴う交通混雑の緩和に向けた 実証実験「TDMトライアル」を実施します

GREEN×EXPO協会（正式名称:公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会、会長：筒井義信、所在地：横浜市中区）は、横浜グリーンエキスポ開催期間中の一層の交通円滑化に向けて、横浜市、神奈川県及びGREEN×EXPO協会が連携し、通勤・通学や物流などの一般の交通を対象とした「交通需要マネジメント※（TDM）」に取り組んでいます。

このたび、TDMにご協力いただける「TDMパートナー企業」や国、神奈川県、横浜市、GREEN×EXPO協会が実際にTDMに取り組み、本番に向けて課題等を検証する「TDMトライアル」を実施しますのでお知らせします。

※道路や鉄道の混雑を緩和するために、移動する時間や経路を分散させることで、交通の「需要」を調整する取組です。

1. TDM トライアルの概要

（1）期間

2026年9月7日（月曜日）から2026年9月13日（日曜日）

（2）対象者

- ・TDMにご協力いただける「TDMパートナー企業」
- ・国、神奈川県、横浜市、GREEN×EXPO協会

※道路上や駅等においてTDMトライアルの周知を行い、上記対象以外の方の参加も促します。

（3）取組内容

以下の内容について協力を呼びかけます。

道路：来場者交通の集中が想定される範囲（下図赤囲みの範囲）の迂回、

もしくは特に混雑が想定される時間・方向を避けた通行等の取組

（具体的な取組例：物流トラックの配送時間やルートの変更）

○来場者交通の集中が想定される範囲（道路）



○特に混雑が想定される時間・方向（道路）

時間	方向
8時から10時	来場方向 
16時から18時	退場方向 

鉄道：横浜駅・新横浜駅の混雑が想定される時間（8時から10時）を避ける取組
（具体的な取組例：テレワーク、時差出勤の実施）

2. 横浜市、神奈川県、GREEN×EXPO 協会の取組

TDM トライアル期間である9月7日（月曜日）から11日（金曜日）の平日5日間に、以下の内容に取り組みます。

- ・横浜駅・新横浜駅の8時から10時の利用を避けた通勤等
- ・会場周辺道路の8時から10時、16時から18時の車両抑制

※各所属の立地や業務内容を踏まえ、取組を実施

3. 横浜駅模擬歩行実験の実施

特に来場者と一般利用者の錯綜が懸念される横浜駅の混雑回避・分散に向けた対策を検討するため、模擬歩行実験を行います。

（1）実験日時

2026年9月10日（木曜日）8時から9時

(2) 実験内容

来場者による利用が想定される「JR中央改札～相鉄線2階改札」ルートにおいて、約60名が来場者流動を再現し、通路の混雑度を計測します。



【TDM ホームページ】 <https://expo2027tdm.city.yokohama.lg.jp/>

※本件は、神奈川県、横浜市と同時に発表しています。

GREEN×EXPO 2027 開催概要

名 称	2027年国際園芸博覧会 (International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan)
正 式 略 称	GREEN×EXPO 2027 (グリーンエキスポニーゼロニーナ)
開 催 場 所	横浜市瀬谷区・旭区 (旧上瀬谷通信施設)
開 催 期 間	2027年3月19日(金)～ 2027年9月26日(日) 192日間
テ ー マ	幸せを創る明日の風景 ～Scenery of the Future for Happiness～
博覧会区域	約100ha(内、会場区域80ha)
ク ラ ス	A1(最上位) クラス(AIPH承認+BIE認定)
有料来場者数	1,000万人以上
公式サイト	https://expo2027yokohama.or.jp/



公式マスコットキャラクター
「トゥンクトゥンク」